

名古屋 ルーセントタワー



所在地：愛知県名古屋市西区牛島町6番1号
延床面積：115,200.34㎡
構造・規模：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地下3階、地上42階、塔屋1階
最高高さ180.2m
設計・監理：(株)日建設計
施工：大成建設(株) 電気／(株)トーエネック、(株)きんでん
竣工：平成19年1月

名古屋地区最大のテナントフロア約2,200m²、天井高さ2.75m、無柱空間の開放的な超高層オフィスビル。
設備ユニットを集約したグリッド天井システム対応照明器具調光形を採用し、
自由度の高いレイアウトを可能にしつつ省エネを図っています。

名古屋地区最大の貸室面積を確保し、機能的で高いクオリティのオフィスを実現

緩やかな曲線を描く独創的な外観の特長から、英語で「光る、輝く」という意味をもつ「ルーセント」と名付けられた地上42階建てのオフィスビルです。最先端のセキュリティや通信インフラの導入をはじめ、様々なゾーニングに対応可能な電気、空調、OAフロアの装備によりフレキシビリティの高いオフィス空間を構築しており、さらに、最大級の地震に耐えられる強固な耐震設計により、高い安全性を確保した構造となっています。天井高さ2.75m、全面ガラスの東面と窓面を大きくとった南北面により眺めのよい開放的なオフィスゾーンは、4階から40階までを低層・中層・高層の3つに分かれた構成とし、オフィスフロアの各階共用部にはリフレッシュスペース、喫煙スペースを確保。16階はビジネスサポートセンターとして、B1から2階にバリエーション豊かなレストラン・コンビニ等を、3階にはクリニックを配置しています。

600mm角のグリッド天井システムの採用により、フレキシブルな室内レイアウトが可能

オフィスゾーンの照明器具は、空調吹出口やスプリンクラーなどを一括して設置する600mm角のグリッド天井システム対応の45Wコンパクト形蛍光灯2灯用調光器具(遮光角30°、ハの字ルーバ付)の採用により、レイアウト変更に伴う設備(照明・空調・防災)の移設や増設にフレキシブルに対応可能としています。

システム天井用のバー材は、照明器具をTバーに乗せるフラットTバーではなく、器具を落とし込む溝付Tバーを採用し、Tバーと照明器具の面の位置を同レベルとしています。これにより、下から見上げた器具は「フラット感」を表出し、グレード感の高い視環境を確保。同時にルーバ脱着ツマミを従来のラッチ方式から片側引掛けのプッシュ(パネ)方式にしたことにより、脱着が容易となり、なおかつツマミを小さくして目立たなくし、器具全体のフラット感をさらに高めてスッキリとした天井デザインが形成されています。

照明制御は、各フロア6分割までゾーニングできるように照度センサを割付け、蛍光灯の自動調光との連動により机上平均照度750lxを確保しつつ、ランプ交換時の余剰な明かりをセーブする初期照度補正制御や昼光利用による適正照度維持制御により、消費電力量の抑制を図っています。



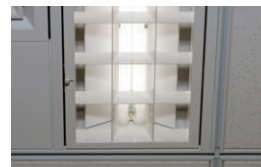
緩やかな美しい曲線を描く名古屋ルーセントタワーの夜景(B1から3階にバリエーション豊かな店舗、4階から40階まで低層・中層・高層の3つに分かれたオフィスゾーンにて構成)



オフィスフロアの照明：ワンフロア約1,500㎡から名古屋地区最大の約2,200㎡を確保。照明はグリッド天井システム対応45Wコンパクト形蛍光灯2灯用調光器具(ハの字ルーバ付)を採用



グリッド天井用45Wコンパクト形蛍光灯2灯用調光器具(照度センサを設備プレートに設置)



ハの字ルーバを採用し、かつ遮光角30°をキープ。目の疲労を軽減しつつ、質感を向上させている



オフィスフロア高層階ゾーンの照明：600mm角モジュールのグリッド天井の設備ユニットには照明器具のほか、空調吹出口、スプリンクラーヘッドなどを集約設置

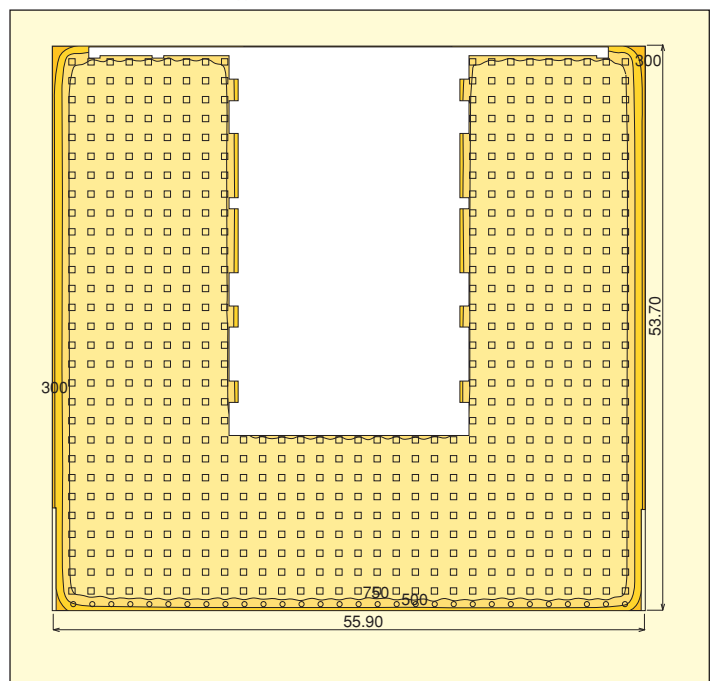


オフィスフロア会議室の照明：照度センサと蛍光ランプとの自動調光の連動により机上面照度を一定に保ちながら消費電力を抑制



オフィスフロア役員室の照明：600mm角のグリッド天井システムの採用によりフレキシブルな間仕切りが可能

●オフィスフロア基準階の照度分布図



■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
オフィス	グリッド照明(下面ルーバ付)	特注	19,800	45Wコンパクト形蛍光ランプ×2
	照度センサ	DF-20206XD7	1,793	—